

## 平成 21 年度政策財政運営の基本方針

### 1 目的

本県の財政は極めて厳しい状況にあり，今年度も事業棚卸しなど予算配分の硬直化の是正に向け取り組んでいるところである。こうした中で，宮城の将来ビジョンの推進を始め県として必要な政策を着実に進めていくためには，政策運営と財政運営とをこれまで以上に緊密に連携させて展開していく必要がある。

よって，予算編成に先立ち，来年度の政策展開の方向性，及びこれに基づき予算を編成・執行していくための財政運営の方向性を明らかにするため，政策財政運営の基本方針を示すものである。

### 2 平成 21 年度の政策展開の方向性

平成 21 年度は，宮城の将来ビジョンの着実な推進と進行管理を図るため計画期間 3 年間として策定した行動計画の最終年度であることから，行動計画において定めた目標の実現に向け成果を挙げられるよう，行動計画に掲載した具体的な取組を基本としながら，政策評価の結果などを踏まえ，より効果的で効果のある質の高い取組を実施していくこととする。

また，内外の情勢変化に伴う喫緊の課題などにも的確に対応していくこととし，特に次のような取組に力を入れていく。

#### ( 1 ) 富県宮城の実現

世界的な企業の立地が相次いで決定している状況を踏まえ，こうした動きを進展させるとともに，地元企業との取引拡大に向けた支援を強化する。

また，仙台・宮城デスティネーションキャンペーンを一過性のイベントに終わらせることなく，観光を核とした地域づくりの更なる推進をめざし，体制整備に取り組んでいく。

さらに，農林水産業振興において，食料自給率の向上の施策に取り組む。

#### ( 2 ) 安心と活力に満ちた地域社会づくり

特に県民が重視し，政策評価でも課題のあった子育て支援や学力向上，地域医療関連の課題解決に向け，しっかりと取り組んでいくとともに，高齢化社会で急増する認知症高齢者に対する対策を進める。

また，消費者・生活者の安全・安心を脅かす事案が数多く発生していることから体制を強化する。

#### ( 3 ) 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり

岩手・宮城内陸地震の教訓を活かし，県民の暮らしがより安全・安心なものとなるよう防災対策の強化に取り組む。

また，地域の住民や企業などとともに，自然エネルギーの導入促進など地球温暖化対策をさらに推進する。

### 3 平成 21 年度の財政運営の方向性

#### ( 1 ) 予算編成の基本的考え方

来年度も引き続き財源が限られるため、予算規模を縮小せざるを得ない状況にはあるが、来年度の政策展開の方向性を踏まえ、予算配分の硬直化の是正や事業の大胆な休廃止等の本年度に実施した事業棚卸しの成果を来年度予算編成に着実に反映させる。

新・財政再建推進プログラムを着実に実施してもなお解消できない巨額の財源不足への対応としてあらゆる追加的な財源対策を総動員することにより、収支均衡予算を編成する。

#### ( 2 ) 予算執行の基本的考え方

来年度の政策展開の方向性を踏まえ、編成した予算を効率的・効果的に執行する。